

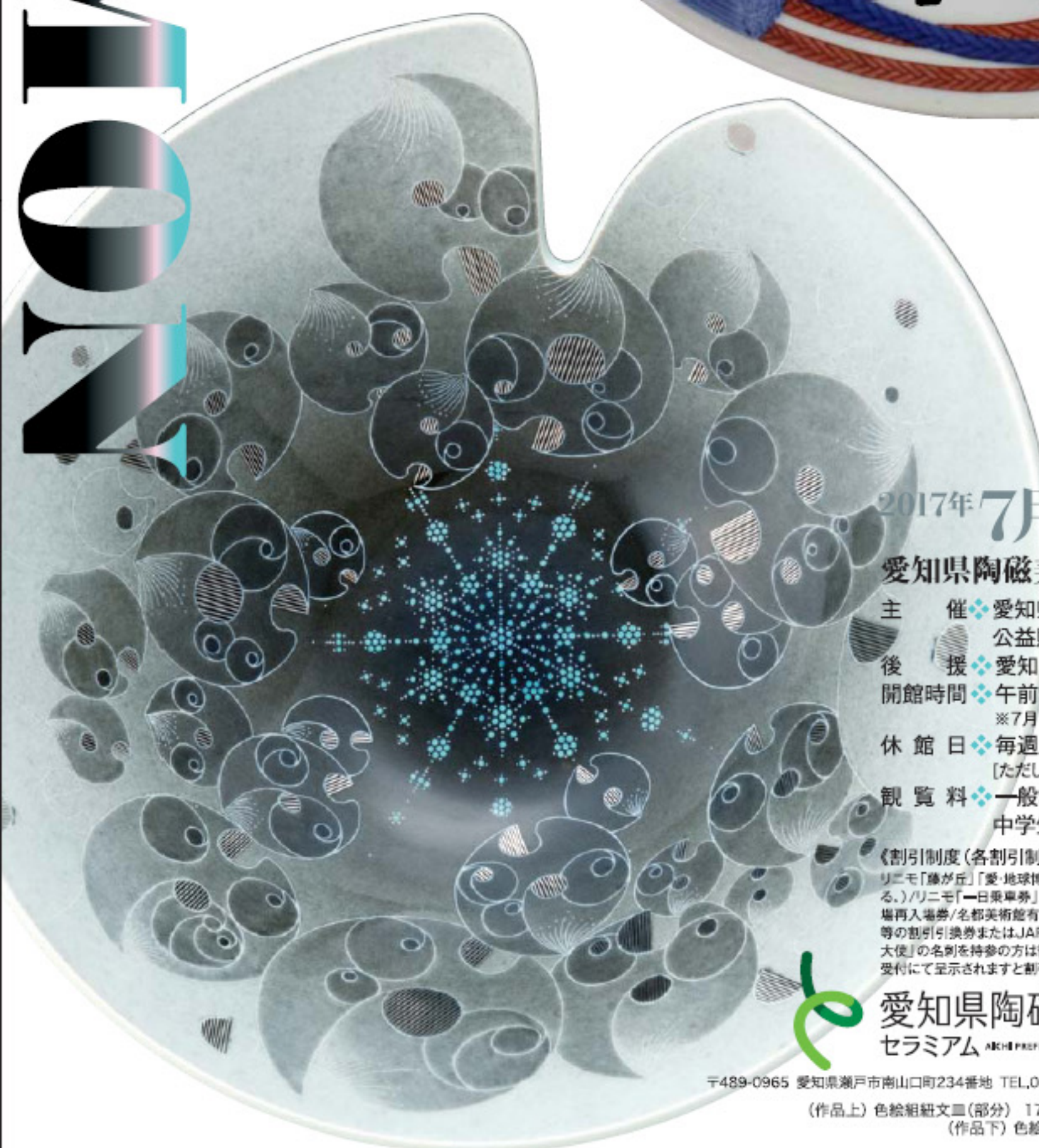
Tradition and Innovation in Nabeshima Porcelain
Decorated with Overglaze Enamels
by the Imaizumi Imaemon Family

IMAEMON



特別企画展

今右衛門 の色鍋島 の



2017年7月1日(土)~8月27日(日)

愛知県陶磁美術館 本館1階 第1・2・特別展示室

- 主催 ◆ 愛知県陶磁美術館
公益財団法人 今右衛門古陶磁美術館 朝日新聞社
後援 ◆ 愛知県教育委員会 愛知高速交通株式会社
開館時間 ◆ 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
※7月1日(土)は開会式のため、観覧は11時から
休館日 ◆ 毎週月曜日
[ただし7月17日(月・祝)は開館し、7月18日(火)を休館とする]
観覧料 ◆ 一般900円(720円)・高大生700円(560円)
中学生以下無料 ※ ()内は20名以上の団体料金

《割引制度(各割引制度の併用はできません)》
リニモ「藤が丘」「愛・地球博記念公園」「陶磁資料館南」「八草」各駅に設置の割引チラシ(リニモ利用者に限る。)/リニモ「一日乗車券」/名古屋市交通局「一日乗車券」および「ドニエコきっぷ」/モリコロパーク駐車場再入場券/名都美術館有料観覧券の半券(2ヶ月以内)を持参の方は観覧料が2割引となります。※チラシ等の割引引換券またはJAF会員証、「ミュージアムぐるっとバス 関西2017」掲載の割引券、「愛知ふるさと大使」の名刺を持参の方は観覧料が100円引となります。※身体等に障がいのある方および付添者は手帳を受付にて呈示されますと割引制度が適用(割引要件あり、詳しくは公式WEBサイトを御覧ください)されます。



〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地 TEL.0561-84-7474 FAX.0561-84-4932 <http://www.pref.aichi.jp/touji>

(作品上) 色絵組紐文皿(部分) 17世紀後期~18世紀初期 大阪市立東洋陶磁美術館蔵 撮影・三好和義
(作品下) 色絵薄墨墨はじき海学文鉢(部分) 十四代今泉今右衛門 2010年 個人蔵

割引引換券 100円割引

一般900円→800円 高大生700円→600円 中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金を御覧いただけます。
他の割引とは併用できません。

割引引換券 100円割引

一般900円→800円 高大生700円→600円 中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金を御覧いただけます。
他の割引とは併用できません。

割引引換券 100円割引

一般900円→800円 高大生700円→600円 中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金を御覧いただけます。
他の割引とは併用できません。

今右衛門の色鍋島

色鍋島は江戸時代(17~19世紀)に鍋島藩(佐賀藩)が生み出した華麗な高級磁器で、将軍家への献上をはじめ、幕閣・公家・諸大名への贈答品に用いられました。ここでは生産と流通が藩の厳格な管理下におかれ、色絵磁器の技と美が極致まで追求されました。今日この伝統を一貫して伝えているのは、御用赤絵師であった今泉今右衛門家です。その工芸技術は重要無形文化財「色鍋島」の保持団体として色鍋島今右衛門技術保存会に受け継がれています。一方、十三代と十四代(当代)の今右衛門は伝統的な技術を継承しつつ革新的な試みに挑戦し、現代の造形美を追求しています。その芸術性は高く評価され、十三代は平成元年(1989)、当代は平成26年(2014)に重要無形文化財「色絵磁器」の保持者(人間国宝)の認定を受けました。本展は、当代今右衛門の最新作からはじまり、明治以降に伝統を継承した十代から十三代の作品、江戸時代の鍋島藩窯の精品へとさかのぼり、色鍋島370年の歴史を約180点の作品で紹介するものです。



①色絵薔薇花畑文皿 17世紀後期~18世紀初期 田中丸コレクション蔵
 ②色絵青海波牡丹文皿 17世紀後期~18世紀初期 今右衛門古陶磁美術館蔵
 ③色絵竹笠文皿 18世紀中期~後期 今右衛門古陶磁美術館蔵
 ④色絵唐子文皿 十代今泉今右衛門 大正年間(1912~1926年) 個人蔵
 ⑤色絵亀甲柄丸文様鉢 十一代今泉今右衛門 1940年 個人蔵
 ⑥色絵更紗文八角皿 十二代今泉今右衛門 1957年 個人蔵
 ⑦色絵薄墨石竹文鉢 十三代今泉今右衛門 1982年 東京国立近代美術館蔵
 ⑧色絵薄墨墨はじき柘榴文蓋付瓶 十四代今泉今右衛門 2011年 個人蔵

関連イベント

記念講演会 I

テーマ❖「今右衛門の色鍋島の伝統」
 日時❖7月2日(日)午後1時30分~3時
 講師❖十四代今泉今右衛門氏(陶芸家、重要無形文化財「色絵磁器」の保持者(人間国宝))
 会場❖本館地下講堂 ※事前申込不要・聴講無料

記念講演会 II

テーマ❖「色鍋島・伝統と創造—十四代今右衛門の陶芸」
 日時❖7月23日(日)午後1時30分~3時
 講師❖荒川正明氏(学習院大学教授、本展監修者)
 会場❖本館地下講堂 ※事前申込不要・聴講無料

スペシャルギャラリートーク

日時❖7月1日(土)午前11時30分~正午
 講師❖十四代今泉今右衛門氏(陶芸家、重要無形文化財「色絵磁器」の保持者(人間国宝))
 会場❖第1展示室他 ※事前申込不要・参加無料(ただし観覧券が必要)

ワークショップ「鍋島焼の陶片を楽しむ」(中学生以上向け)

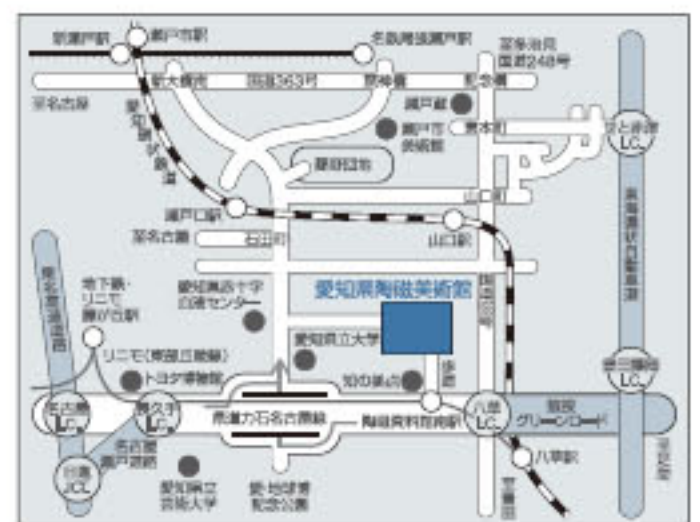
江戸時代の鍋島焼の陶片に実際に触れながら、考古学や制作者の視点を体験しましょう。
 日時❖7月30日(日)①午前10時~11時30分 ②午後2時~3時30分
 定員❖各回10名(事前申込制、申し込み多数の場合は抽選) ※参加無料
 ※イベントの内容・お申し込み方法は、公式WEBサイトを御覧ください。

当館学芸員による展示解説

7月15日(土)、7月29日(土)、8月12日(土)、8月20日(日)、8月26日(土)
 いずれも午後1時30分~1時間程度 ※事前申込不要・参加無料(ただし観覧券が必要)

近隣施設のご案内

- ◆瀬戸市美術館
企画展「曙姿・長江惣吉展」6月3日(土)~7月30日(日)
企画展「鈴木紹陶武彫刻展」8月5日(土)~10月1日(日)
- ◆瀬戸蔵ミュージアム
企画展「新出土品展 東印所A窯跡とその周辺—古瀬戸前期の窯業生産—」5月13日(土)~7月23日(日)
企画展「瑠璃釉のやきもの」7月29日(土)~11月5日(日)
- ◆瀬戸市新世紀工芸館
企画展「兼行誠吾 板屋成美」6月24日(土)~9月17日(日)
- ◆瀬戸染付工芸館
企画展「瀬戸染付のいろいろな“うつわ”」6月28日(水)~9月25日(月)



〈アクセス〉

- 公共交通機関 地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m/名鉄瀬戸線終点「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野団地」經由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・休日のみ)/愛知環状鉄道「八草」駅下車、リニモ「八草」から「藤が丘」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m
- 自家用車(駐車場無料・250台収容、大型バス9台収容) 東名高速道路「日進JCT」經由、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から足助・瀬戸方面に約5km/東名高速道路「名古屋IC」・名二環道「本郷IC」から瀬戸・長久手・足助方面に約10km/東海環状自動車道「せと赤津IC」から約7km
- タクシー 地下鉄東山線・リニモ「藤が丘」駅から約20分/名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約15分

次回展覧会のお知らせ 企画展「2017 アジア現代陶芸展」2017年8月31日(木)~10月22日(日)

県民茶室「陶翠庵」

展覧会会期中、磁器の茶碗を取り揃えてあります。また、誕生月の作家の茶碗もお楽しみいただけます。(一服550円、本展の観覧券の半券提示で50円引きになります。)



愛知県陶磁美術館
AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL.0561-84-7474 FAX.0561-84-4932
http://www.pref.aichi.jp/touji

